

**Open** 十和田八幡平国立公園の案内役  
**十和田ビジターセンター**  
☎2368



環境省が建て替えを行っていた「十和田ビジターセンター」が4月20日にオープンしました。休屋南駐車場向かいに建設された同施設は、旧施設の約4倍の広さとなっています。

鳥の鳴き声が流れる施設内では、十和田の四季や動植物の生態をパネルなどを使い、わかりやすく解説しています。また、ラウンジからは十和田湖を一望することができます。



▲立体的な十和田湖のジオラマ



▲湖を一望できるラウンジ

近くてよく知っている  
**十和田湖へ**

昨今、ニュースや新聞で取り上げられる十和田湖の話題といえば、マインスイメージの事柄が多くを占めています。しかし、十和田湖は少しずつ変わろうとしています。

今年3月、行政や関係団体、地元業者などが一体となり、「滞在型の観光地化と観光資源の保護との両立」を方針に掲げた「十和田湖観光再生行動計画」を策定しました。計画では、「門前町」・「パワースポット」・「豊かな自然」の3つをキーワードに、自然・文化・歴史などの地域固有の資源を最大限に生かした「十和田らしさ」で取り組むこととしています。

その取り組みに加え、「観光地・十和田湖」を明るい話題に変えるためには、何よりも市民一人一人が「私たちの十和田湖」の魅力、素晴らしさを発信していくことが必要です。「十和田湖のこんなところへ行ってきたよ」、「十和田湖でこんなことをして遊んだよ」ほんの一言の「つぶやき」が大きな発信力となります。そのためにもまずは、私たち自身が十和田湖を訪れ、遊び、楽しみ、「近くて遠い十和田湖」を「近くてよく知っている十和田湖」へ変えてみませんか。

**(仮称) 十和田湖観光交流センター**  
の愛称を募集します

☎観光推進課 ☎6771

市では、十和田湖休屋地区にある旧十和田湖遊覧船ターミナルを取得し、新たな観光拠点として活用を図ります。(オープンは今秋の予定)

市民をはじめ観光客が気軽に立ち寄れるよう、また、親しみのある施設となるよう愛称を募集します。皆さまの応募をお待ちしています。



.....施設概要.....

1階 332.37㎡  
2階 362.44㎡  
観光案内、休憩、ヒメマス展示、和井内貞行・高村光太郎・大町桂月紹介

応募方法 愛称、愛称の意味を記入し、住所・氏名・年齢・電話番号を書いて、郵便・ファクス・メールで応募してください。※1人1点に限ります。

締め切り 7月25日(金)

応募先 〒034-8615 十和田市観光推進課(住所記載不要)

FAX ☎29799 メール kanko@city.towada.lg.jp

賞品 優秀賞1人(賞状、2万円相当の十和田産品など)

※同一の愛称が複数の場合、抽選して優秀者を特定。同じ愛称提案者には記念品を贈呈します。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

**第49回 十和田湖湖水まつり**  
夜空に輝く花火と湖畔に写し出される光のハーモニーを楽しもう!

とき 7月19日(土)・20日(日)  
ところ 十和田湖畔休屋棧橋前広場

**湖上花火大会**  
19日・20日 午後8時～9時

**花火観覧船**  
19日・20日 午後6時30分乗船開始

**乙女の像ライトアップ**  
19日 午後6時30分～10時

**フリーマーケット**  
19・20日 午前9時～日没

**十和田科学博物館**  
19日・20日 午前10時～午後4時

☎十和田湖湖水まつり実行委員会  
☎2425